

# パブリックコメントの結果と 登録要件の運用

---

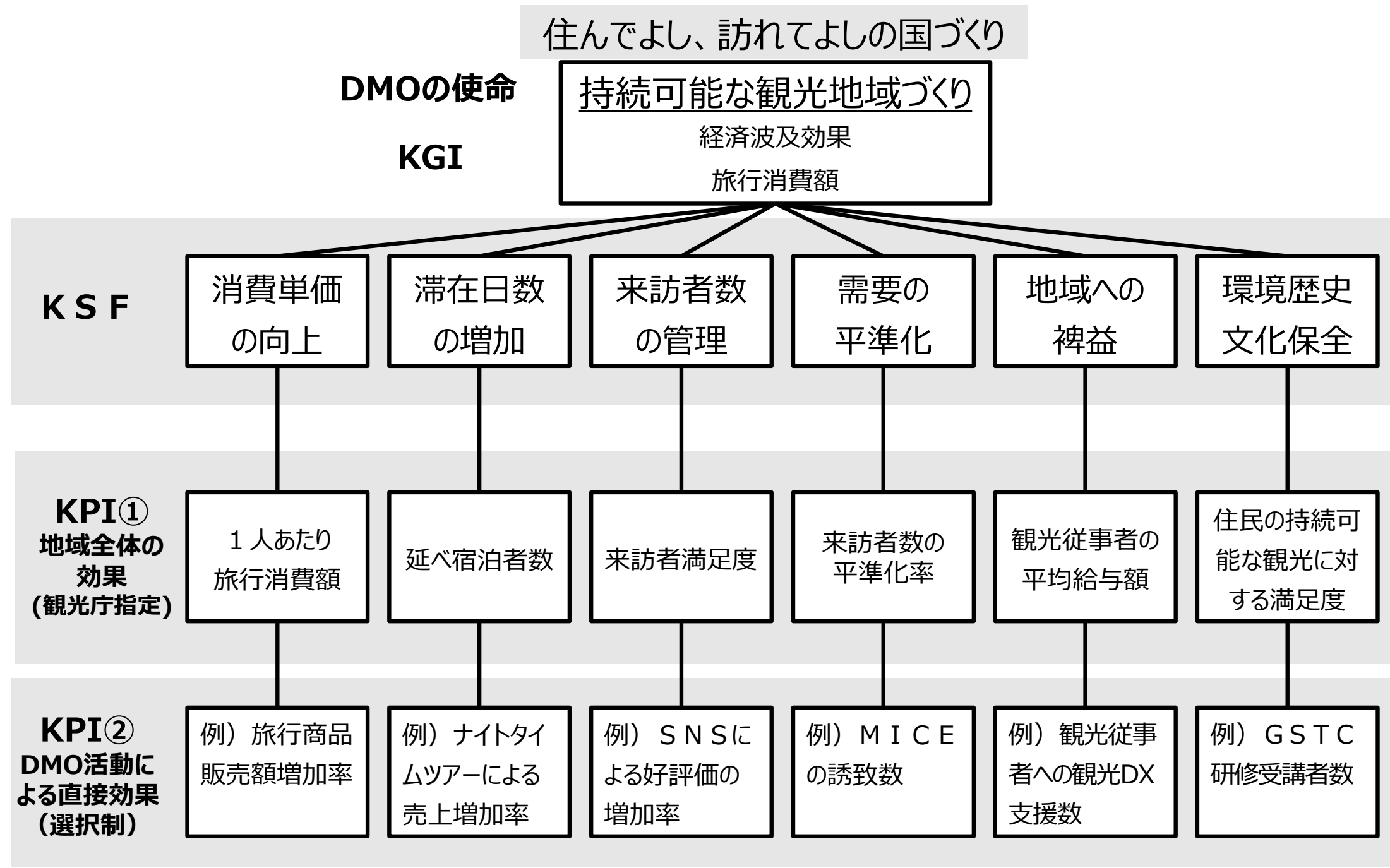
# パブリックコメントの実施結果（概略版）

○ 実施期間：令和7年1月29日（水）～ 令和7年2月18日（火）

○ 提出意見数：36の個人・団体から合計132件



| 項目      | 主なご意見                                              | ご意見に対する考え方                                        |
|---------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 登録・更新要件 | 要件が厳しくなり、登録DMOとしての存続が難しくなる。                        | 登録DMOに求める最低限の要件や事項を規定したものである。                     |
|         | KGI及びKPI（特に観光事業者の平均給与）が取得困難である。                    | KGI/KPIの設定の意図、算出のあり方等については、別途ご提示する予定である。          |
| 登録区分    | 地域連携DMOを残すべきである。                                   | 登録制度上の分類であり、求める機能・役割は現行と変わらないことから、原案のとおりとする。      |
| 自治体との連携 | DMOの運営にあたっては地方自治体からの支援が大きいいため、国から地方自治体への指導をお願いしたい。 | 改正案に係る地方自治体への説明会等を開催する予定である。                      |
| その他     | DMOのあるべき姿を具体的に記載すべきである。                            | 登録DMOに求める最低限の要件や事項を規定したものであり、DMOの政策を全て網羅したものではない。 |



|                   | マーケティング<br>(対旅行者)                                                                                           | マネジメント<br>(対観光地（マネジメント区域）)                                                                        |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マネジメント区域<br>全体の成果 | <div>○旅行消費額(*1)</div> <div>○延べ宿泊者数</div> <div>○来訪者満足度</div> <div>○1人あたり旅行消費額</div> <div>○来訪者の平準化率(*3)</div> | <div>○経済波及効果(*1) (*2)</div> <div>○観光従事者の平均給与額(*3)</div> <div>○住民の持続可能な観光に対する満足度(*3) (*4)</div>    |
| DMOの成果            | <div>○年単位の実行計画を踏まえ、DMO自らが選択し設定するKPI（1つ以上）</div> <div>(例) WEBへのアクセス数の増</div> <div>(例) 宿泊施設のリピーター率</div>      | <div>○年単位の実行計画を踏まえ、DMO自らが選択し設定するKPI（1つ以上）</div> <div>(例) 観光分野の事業者数</div> <div>(例) 観光従事者の満足度</div> |

(\*1)KGIである。

(\*2)更新時においてのみ最新の結果と新たな数値目標を求める。

(\*3)広域連携DMOは必須ではない。

(\*4)都道府県DMOは必須ではない。

※その他、DMO組織内部のKPIも求めることとする。

# KGI・KPIの測定方法（経済波及効果）

- 「持続可能な観光地域づくり」に係る評価指標として、「旅行消費による経済波及効果」を計測。
- 具体的な計測方法等については別途、**手引き書を作成**し提示する方針。

## 測定方法

【調査時期/周期】 1年間（※） / 3年に1回

【調査対象】 観光客がマネジメント区域内で消費する商品・サービスを調達するために、関連する産業において直接的・間接的に必要となる生産額の合計

【調査方法】 マネジメント区域と対象区域が同じの産業連関表、経済波及効果分析ツール(※)を使用。

（※）代替案も含め手引き書に記載予定。

### 1. 産業連関表の作成又は取得

- A) マネジメント区域の産業連関表を作成又は取得
- B) マネジメント区域の産業連関表の作成又は取得が困難な場合は、広域の産業連関表を使用する等代替策を想定

### 2. 旅行消費額の取得

- A) DMOがアンケート調査等を行い、費目別の観光消費額を取得
- B) 都道府県や市町村が公表する観光統計から観光消費額を取得
- ※ 旅行消費額（KGI）は費目計であるが、計測時には、宿泊費、飲食費、交通費、買物費、娯楽費その他の費目別に把握しておく。すべての費目の取得が困難な場合は、特定の費目に絞ることも可。

### 3. 経済波及効果分析ツールによる経済波及効果の算出

- A) 産業連関表に付随する（対象区域が同じ）経済波及効果分析ツールを用いて算出
- B) 産業連関表に付随する（対象区域が同じ）経済波及効果分析ツールの取得が困難な場合は、広域の経済波及効果分析ツールを活用する等代替策を想定

- 環境、歴史、文化保全等持続可能性に係る評価指標の1つとして、「**住民の持続な観光に対する満足度**」を計測。

## 測定方法

【調査時期／周期】 1年間／毎年

【調査対象】 マネジメント区域内の住民

【調査方法】 DMO独自のアンケート調査を実施、もしくは自治体を実施する意識調査等に設問を追加

【サンプルサイズ】 1,000サンプル以上（人口が多いマネジメント区域における、統計的に有意なサンプル数の目安）

【設問（案）】

○○（※マネジメント区域）では、■■■■DMO（観光地域づくり法人）を中心に、環境面、経済面、社会的・文化的な観点で「持続可能な観光地」づくりに取り組み、観光客の受入のみならず、住民の生活の質向上を目指しています。現在の○○（※マネジメント区域）は、「持続可能な観光地」として満足のいくものですか。次の5つ中から、最もあてはまるものをお選びください。

大変満足      満足      どちらでもない      やや不満      大変不満

# DMOの登録要件にかかる人材育成の運用について

- 改正予定のDMO登録要件では、更新にあたってDMOの中核・実務人材と経営者層各々に対し、各々の研修受講の証明を求めることとしている。
- 人材育成の基本的な責務は個々のDMOにあることから、要件上は最低限の確認にとどめることとしDMOが行う人材育成に対する支援については引き続き別途継続する方針。

|                        | 中核・実務人材                                                                               | 経営者層                                                                           |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 対象                     | CMO、CFO、事務局長、実務者 等                                                                    | 理事長、理事、CEO 等                                                                   |
| 必要とされる<br>資質や能力<br>(例) | 【共通】地域に対する誇りと愛着、コミュニケーション能力、全般的な観光動向の理解、社会的使命感、倫理観、責任感 等                              |                                                                                |
|                        | <b>【特に求められるもの】</b><br>DMOマネジメントやDXに必要な知識、技術、及びマネジメントを実施するためのプロジェクトマネジメントや調整等にかかる資質や能力 | <b>【特に求められるもの】</b><br>マネジメント、大局観、危機管理、人間力等<br>トップ層が一般的に兼ね備えるべきと言われる資質や能力       |
| 観光庁としての方針              | DMOに求められる最低限の知識等習得を確認                                                                 | 観光の最近の情勢に加え経営者層の心構えをインプット                                                      |
| 要件適否の確認行為              | (民間等が行っている又は行う予定のある研修を公募し、観光庁が評価し選定した上で) 当該研修の受講証明をもって確認。                             | 観光庁が次の項目について行う講演等に参加することをもって確認。<br>○最近の観光の動向<br>○経営者層に期待すること<br>○有識者からの話題提供 ほか |



# 【参考】中核・実務人材の研修の要件について

- 次年度必要となる研修の採択にあたっては、「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン（R5.3観光庁策定）」における6本柱を要件として活用。
- なお当該ガイドラインにおいては、DMO人材をはじめとした観光地の再生・高付加価値化を進め、持続可能な観光地域づくりを牽引する人材を広く「観光地経営人材」と定義している。

## 【観光地経営人材に求められる知識・技能の6本柱】 「ポストコロナ時代における観光人材育成ガイドライン」より抜粋

### ①観光地経営戦略

地域の特性、課題等を踏まえた、ブランディング戦略を含む観光地経営戦略策定についての知識・技能

### ④観光地マーケティング

データ・統計分析に基づき、地域の観光コンテンツ開発、プロモーション等を効果的に行うマーケティング手法についての知識・技能

### ②現代の観光地経営の動向

グローバルな視点も含め、地域を取り巻く状況を客観視し、今後の観光地経営をどのように舵取りしていくべきかを見定めるのに必要な知識・技能

### ⑤地域観光のイノベーションと観光DX

観光地における価値創出、消費者の嗜好変化への対応等のためのデザイン思考及び観光DXについての知識・技能

### ③観光地経営組織マネジメント

リーダーシップやファシリテーション技法とともに、目標を設定し、関係者を巻き込みながら課題解決に当たり、着実に成果を出していく手法についての知識・技能

### ⑥観光地経営のアントレプレナーシップと事業開発

観光地における価値創出等の実現に向けた①～⑤の知識・技能を踏まえた総合実践力

※アントレプレナーシップ：起業家精神



# DMOのDX推進について

- 令和5年3月にとりまとめられた「観光DX推進による観光地の再生と高度化に向けて（最終取りまとめ）」に基づき、2027年度までにKPIを達成させる方針。
- 令和6年度中に、データ活用に関する補助や取組、観光DXについての知識・技能の定着を行うための研修資料を作成する。

## 観光庁がDMOへ求めていること

### 全ての登録DMOを目標としている事項

- 地域全体を包括する情報発信・予約・決済機能をシームレスに提供するサイトを設置していること
- デジタル化やDXを推進するための要素が盛り込まれた、データに基づいた経営戦略を策定していること

### 90以上の登録DMOを目標としている事項

- デジタル化やDXを推進するための要素が盛り込まれた、データに基づいた経営戦略を策定しており、そのうちCRM・DMPを活用していること

## 令和6年度の取組

- ・ 基礎的で汎用性の高いマーケティング強化に取り組むため、既存のデジタルツール導入の実証事業を15DMOへ実施。デジタルツール導入の手引き書の作成。
- ・ DMO向けのDX活用に関するオンライン研修の開催、研修資料の作成

## 事例

### （一社）福島市観光コンベンション協会

- ・ 宿泊施設との連携し、サイト閲覧者がシームレスに宿泊予約を行える環境を整備

